２年目の総会へ向かって

会　長　古賀　正昭

今までに無い異常気象を記録した夏も過ぎ涼しさを感じるような季節になりましたが会員の皆様方には熱中症など吹き飛ばして元気でお過ごしの事と存じます。

今年の総会は同窓会として何か「社会貢献」出来ることはないかと検討した結果「昨年の九州北部豪雨災害で被災された方々を支援しては」という事になり役員・幹事一同工夫しましたので、同窓生の皆様方も御協力をおねがいいたします。

昨年は役員や先輩・後輩の皆さんに支えられ、無我夢中で同窓会活動に邁進した一年でした。同窓生の皆様方はどのように感じられているか判りませんが、一定の成果は上げられたのではないかと思っています。

総会の参加者が前年度は約１００名から約１５０名に増え、総会誌の広告掲載に協力して頂いた会社も７７社から１０３社と大幅に増えました。

この事は、新会長になった私を盛り上げなくてはならないと役員や先輩・後輩の皆さんが頑張って活動してくれた結果だと思います。

私自身は今まで同窓会活動にあまり係わってこず、昨年会長になって初めて同窓会の内情を知りました。その反省から何かをして同窓会のイメージチェンジをしなくてはと思い、まず総会誌をB5版からA4版に変え、表紙は校舎の写真やイメージパースが多く使われている事から今までに無い物をと思い、京都市在住の「画工–えかき–殿村栄一」さんに「何か縁起の良いものを」と依頼したところ、「左馬」が一番良いのではないかと「左馬」を書いて頂きました。

「左馬」は多くの客、沢山の福を引き連れてくるという縁起話があり、その縁起については表紙の裏に書いていますのでご覧ください。

そして、今年は更に大胆なイメージチェンジをしてはと考え、福岡市在住の女性イラストレータ「ますだみく」さんに表紙のカバーを御願いしました。「ますだみく」さんの斬新な絵は若い同窓生たちの心を引きつけるのではないかと思っています。そしてこの総会誌を見た若い同窓生たちが来年から増える事を期待しています。

また、ゲストには戸畑生まれの女性シンガー「ViVi」さんを招いており、若い人の心を引きつけるような歌を披露してくれる事と思います。

同窓生の皆様方が「来て良かった」と言われるような総会にしたいと幹事・役員一同頑張っていますので、今後とも同窓生の皆様方の御協力を御願いいたします。

総会に寄せて

当番幹事長　森谷　康弘

今年は、地震や記録的な猛暑、台風や大雨などの自然災害が続き、日本列島を震撼させました。各地で被災された方々の早期復興を、心よりお祈り申し上げます。

思い起こせば高校2年生の秋、友人とのトラブルが原因で、学校を辞めようと、暫く不登校になった時期がありました。

しかし、柔道部の仲間や、顧問であった（故）吉田孝　先生に支えられ、無事、3年生に進級することが出来ました。担任であった、大村俊樹　先生などは、毎日、帰宅途中に訪問して下さいました。

振り返ると、とても恥ずかしい思い出ですが、もしも、あの時に高校を辞めていたら、もしも、あの時に柔道部の仲間や先生方と出会わなければ、現在の私は無かったのではないかと思います。

この場をお借りして、恩師（故）吉田孝　先生を始めとした諸先生方、柔道部の仲間に感謝の意を表し、心より御礼申し上げたいと思います。

また、卒業してからは、教育実習生として、上田泰義　先生、柿谷八州男　先生にも、大変お世話になりました。重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度、当番幹事長を拝命致しましたが、様々な方々より受けた、数々のご恩に報いるためにも、大盛況の総会を目指し、“報恩感謝”の思いで務めさせて頂く所存です。最後まで、宜しくお願い申し上げます。

また、今総会では“ＪＡ筑前あさくら”等と協力して、“朝倉支援”を行います。記録的豪雨に見舞われ、甚大な被害を被った朝倉の物産を、くじ引き大会の景品として活用し、“朝倉支援”を行って参ります。ご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、これまで、総会を目指しご指導頂いた、同窓会会長　古賀正昭様を始めとする、同窓会役員の皆様、当番幹事として、一致団結して頑張って下さった、藤原浩次くん、甲斐昭浩くん、真浦久美子さんに対し、深く感謝申し上げるとともに、生徒たちの健やかな成長と、八幡工業高等学校、洞南会、地域の益々の発展を祈念し、挨拶とさせて頂きます。

洞南会総会ごあいさつ

校　長　　那波　正宣

平成３０年度福岡県立八幡工業高等学校「洞南会」総会が、多くの同窓の方々のご参集のもと、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃から母校八幡工業高校にご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

８３年という歴史と伝統を守りつつ、新たな発展へとスタートした今年度は、さまざまな活動において、新たな決意とともに、教育活動の充実に尽力している所です。部活動では、ボート部がインターハイ出場、水泳部が九州大会出場、柔道部、サッカー部、バスケットボール部、空手道部、バレーボール部、バドミントン部、卓球部も県大会出場と活躍し、活発に活動しています。就職につきましても、昨年よりもさらに求人が増え、生徒の希望進路実現の追い風となり、多くの喜びの声が聴けることを期待している所です。校内生活においては「八工愛」「挑戦」という合言葉のもと、職員と生徒が一丸となり学校行事や部活動に邁進し、充実した取り組みを続けた結果、その教育効果が随所に見られるようになってまいりました。地域の方々からのお褒めの言葉をいただくことも多くなり、校内外問わず、同窓の方々の期待に沿えるよう、さらに鋭意努力してまいる所存です。

また、本校キャラクター「八工ハッチ」の着ぐるみが手作りで完成し、６月に開催された体育大会で披露することができました。製作に当たりまして同窓会のご支援をいただき心から感謝申し上げます。その他の特徴的な取組として、「八工ハッチ・チャレンジプロジェクト」では、毎月一度の『体験講座』を行い、さらには、「八工プロジェクト『お年寄りお助け隊（出張サービス）』」としてボランティア活動を行っています。これらをはじめとした数々の活動は、継続した取り組みにより地域に根差した学校づくりを着実に進めることができています。その成果として、一般社団法人　日本善行会から高い評価を頂き、過日、東京の明治神宮で「善行章」を受賞してまいりました。今後も活動を継続し、さらに充実させていきたいと考えています。

最後になりますが、総会の開催にあたりご尽力いただきました、同窓会会長　古賀正昭　様をはじめ、役員、当番幹事の方々に感謝申し上げるとともに、洞南会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶にかえさせていただきます。

平成３０年度　洞南会総会誌
（教頭着任挨拶）

教　頭　　今井　寿光

平成３０年度福岡県立八幡工業高等学校「洞南会」総会の開催、誠におめでとうございます。また、洞南会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げるとともに、日頃より母校の教活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

先日発刊されました「洞南会会報誌」でもご挨拶させていただきましが、改めて、本年４月の人事異動で、小南教頭の後任として福岡県教育センターより着任いたしました、今井寿光と申します。何卒、よろしくお願いいたします。私自身も昭和６０年金属工業科を卒業した同窓生であり、教職経験３０年目の節目の年に母校に奉職できますことを大変光栄に感じている所です。

さて、本校はご存知のとおり、今年で創立８３年目を迎える伝統ある学校でございます。その伝統校に相応しく、様々な活動において生徒達は、その成果を発揮しております。

６月に開催された体育大会においては、生徒会と運動部が主体となって企画・運営し、各科のブロック長が中心となり優勝を目指して各競技に取り組む姿は、同窓会会長　古賀正昭　様をはじめとした同窓会役員や、保護者、地域の方から素晴らしい体育大会であったと称賛のことばをいただきました。また、部活動においてもボート部の全国大会出場、水泳部の九州大会出場と伝統を堅持し、柔道部、サッカー部、バレーボール部が北九州地区大会準優勝で県大会出場、その他、バスケットボール部、バドミントン部、卓球部、空手道部がそれぞれ県大会出場を果たしています。文化部やものづくり活動においても、吹奏楽部、ものづくりコンテスト、溶接技能競技大会、エコデンカーレース大会、マイコンカーラリー大会、ロボット競技大会等、生徒の特性が生かされる様々な場で活躍しています。

これらの活躍ぶりは、随時学校のホームページに掲載していますので、後輩達の活躍をご覧いただき、同窓会での話題のひとつにしていただければと思います。また、母校八幡工業高校が、ここ引野ケ丘の大地に、これまで以上に根を張り発展していくために、広告塔として地域等へ発信していただければ幸いに存じます。

結びに、多くの先輩諸氏が築いてこられた伝統を在校生とともに引き継ぎ、八工桜の年輪のように、新たな歴史を刻んで参る所存です。今後とも母校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あの先生は今？

元柔道部顧問　田中幾之進

八幡工業高校のOB，ＯＧの皆さん、在籍12年3ケ月おせわになりました。

私は今、糸島に住んでいます。77歳になりましたが柔道に係わりながら地域のイベントをサポートし、故郷で自然と共に暮らしています。

大学時代　アントン・ヘーシンクとの出会い

天理大柔道コース（全国から20名しか入学できなかった）へ入学した。東京オリンピックの年だったので全日本の選手の合同練習が天理道場で行われ大変な日々を過ごしました。

神永、猪熊、古賀選手とそうそうたるメンバーと毎日厳しい練習を行った。オリンピックで神永選手を破りチャンピオンになったオランダのアントン・ヘーシンクも来日して天理大にいました。

最初のきっかけは私が183㎝80㎏の体格だったので練習相手に丁度良かったのでしょう。練習相手をお願いしますと言ってきた。彼は198㎝120Kg超の巨漢だったのでびっくりしました。それより驚いたのは初歩的な礼儀作法を彼から再度教えられた事です。はじめと、終わりには正座をして練習をするという基本のマナーです。10分間練習したら太鼓がどんどんとなり終わりを告げお礼を言い、神永選手と練習をやりたいので飛んで行こうとすると、ちょっと待て待てと正座をするものですから私もあわてて挨拶をする。次に行こうとするともう相手が決まっている。そうするとヘーシンクがもう一度お願いしますとなり、それが数回続く毎日の事だから大変でした。

私はそのころ100㎏のバーベルを上げていまして力には少し自信がありました。日本の選手とやったときは10回に1回くらいは手や膝を着かせる事ができましたが、彼と練習中首を〆ていますと、あーあーなかなかしまって来ましたねというので渾身の力で〆に行きました。ところが私の両肘を持ち上げ逆に〆られてしまいました。怪力の持ち主でもありいくら技をかけてもピクリともしませんでした。

彼とは練習以外にサッカーや水泳にも付き合わされました。10ｍの飛び込み台から平気で頭から飛び込むのですから驚きです。私もやれと言われやりましたが、水面に着くまで2，3回まだかまだかなと考える程遠い水面でした。サッカーをさせれば足も速いし、ボールを肩に乗せて走るのですからついてゆくのが大変。ゴール前に来ると肩から降ろして素早くシュートします。大したものです。

彼との思い出、一緒に撮った写真、写真にもらったサインは私の宝物です。

八幡工業高校に着任

S41年4月1日付けで八幡工業高校に本採用となる。

最初の授業で土木科の生徒が私を呼び捨てにしたと思い、滅多打ちにしたこと。体育祭での火災があったこと、野球部の生徒が生き埋めになったこと、生徒がK先生を殺すと言うので止めに入り、また滅多打ちにしたこと等は一度同窓会会報に書きましので除きます。今だったら一発で首でしたね。皿倉山で3名の生徒が次々と死亡したことも書きました。柔道部の思い出はたくさんあります。最初練習して感じたのは、これでは1回戦ボーイと言われても仕方ないかと思いましたが、練習を重ねてゆくうち徐々に強くなり、八幡では東筑高校を破ったりと手応えを感じました。八幡製鉄の道場に連れてゆき、レギュラーの方たちとまず自分が練習して、強い人たちにこの子とこの子と言って練習を付けてもらい、警察にも、芦屋の自衛隊にも合宿させてもらい3から4年で北九州の大会で初優勝をするまでになる。その後ベスト4から下ることはありませんでした。

天理大卒の指導者がいる高校柔道部の大会が天理大道場でありました。その時私は新宮高校の教諭になっていましたが八工柔道部に声を掛けました。

Ａチーム：常に全国大会に出場している　Ｂチーム：県大会で頑張っているチーム
Ｃチーム：地区大会で頑張っているチーム　八幡工業はＣチームで夏休みに行われた35から40チームで試合をして見事優勝しました。トロフィは玄関横にあるはずです。

定年後の人生

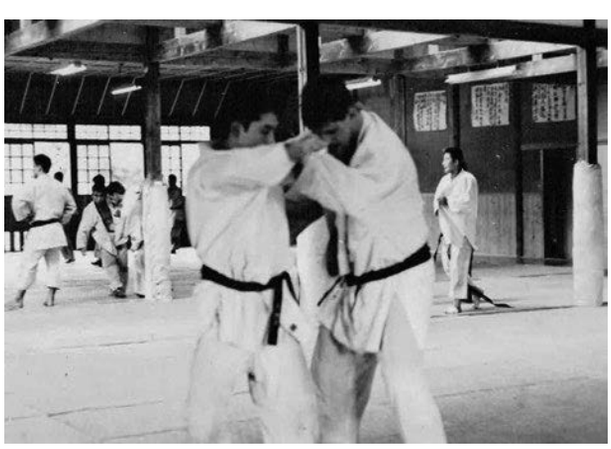
県立高校教諭37年間勤め、退職した次の日から学校法人麻生塾へ勤務する。

73歳まで毎日通勤していたが、麻生自動車大学校を最後に退職、麻生公務員専門学校の非常勤と柔道を教えています。教師生活54年目です。

福岡県柔道連盟及び糸島地区の理事として役員もしています。母校の糸島高校で退職するときには7段を取り現在に至っております。早く8段の資格があるので取りませんかと言われていますが、いらないと断っています。

八幡工業高校の12年と3か月は私の青春時代でもあり忘れられない時間でした。

今でもその当時の教え子たちとの交流は長く続いています。



平成30年度・同窓会役員名簿

役　職	卒　年	氏　名
名誉会長	学校長	那波　　正宣
同窓会顧問	S26機械科卒	髙山　　守
	S32機械科卒	寺西　　進
会　　長	S37土木科卒	古賀　　正昭
副 会 長	S42機械科卒	妻鳥　　晴夫
	S46土木科卒	手嶋　　龍郎
	S45電気科卒	田中　　智
事務局長	S44電気科卒	西　　良平
会計監査	S47金工科卒	山口　　洋一
執行役員	S38土木科卒	柿谷 八州男
	S41土木科卒	星山　　康雄
	S47金工科卒	赤尾　　健語
	S47金工科卒	林　　慶治
	S49金工科卒	塚元　　悦夫
	S50金加科卒	丸山　　覚
	S58土木科卒	田代　　昌治
	S61金工科卒	木畑　　広宣
	H11材技科卒	松岡　　沙依
	H26電気科卒	松岡　　尚汰

皆さん京浜支部は元気です
関東のお仲間をご紹介下さい!

懇親会は毎年6月第1土曜又は日曜昼間開催に
変更になりました。参加待ってます。

京浜支部事務局連絡先
住所　埼玉県富士見市渡戸2-11-33
E-mail　dounan-kanto@jcom.home.ne.jp
FAX　049-268-1069
京浜支部事務局　浜谷 清